明治三十年六月十八日印刷
明治三十年六月二十日發行

婦人衛生雜誌

第九拾壹號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雑誌
第九拾壹號
目次

講演

◎伯林職工午餐塲　理學博士　長井長義君

衛生叢談

◎痲疹に就きて　G K
◎飲食物に就きて
◎室内の掃除法
◎病人看護法
◎婦人衛生會新潟支會講演
◎子宮癌種の咄
◎大日本婦人衛生會記事
◎廣告數件

大日本婦人衛生雑誌
第九拾號
目次

講演

◎乳歯出齦期發病の話　ドクトル　伊澤信平君
◎暖室の話幷に朝鮮の「オンドル」　醫學博士　中濱東一郎君

衛生叢談

◎燒傷の處置
◎鑛物中毒
◎失神の際の處置
◎歯牙の養生
◎慈母の哺乳障碍
◎大日本婦人衛生會記事
◎新潟支會記事
◎廣告數件

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第九拾壹號
（明治三十年五月二十日發行）

講演

●伯林府職工午餐場（婦人衛生會例會演説）

理學博士　長井長義君

私は今日獨逸國伯林府職工午餐場の御話を致さうと思ひます、一体此事は婦人衛生會には關係が有りませぬやうですが此午餐場といふのが伯林府の衛生に大に關係を有して居りまするもの故、此事を一度皆樣の御耳に達して置きたいと思ふのでございます、此午餐場の事を申すには、總体歐羅巴の大きな市府の中の職工等即ち下級人民の生活の狀態を御話いたしませぬと、衛生に關係をして居る點が解りませぬと思ひますから、ソレを前以て申上げます。

我日本の東京邊でありますると、最も中央部は家賃も高くして、下級人民が住することは出來ない、ソレ故に自然富有の者は繁華の處に住み、貧しきものは大術の周圍に散在して居ることになッて居ります。さりながら歐羅巴の大都府の狀態といふものは大へんに異ッて居ッて相應の位地ある人の住んで居る家の間に、下級の人民が挾まれて生活することが出來ます、富有の人と貧窮の人の住家とは左程の隔りは有りませぬ、けれども總へて何に因らず工場の多く在る處は、自然の道理で市府の中央に設けらるゝことは有りませぬ、市府の周圍に建てらるゝ譯になッて居ります。而して其職工等の生活する住家は工場の近傍即ち市府の

周圍で、食物は多くは中央の方で求めなければ、周圍の方で食物を求めることは出來ない、ソレ故下級の人民が最不便を感じます、日本と歐羅巴とは少しく市府の狀態が違ひます。モウ一ッ歐羅巴と日本とは一家を興しまするに就て、日本と歐羅巴とは餘程風俗か違ひます、日本では上流社會の者よりは却ッて下級の者の方が、二十四五歲になれば、一家を興すことが出來ます。然るに歐羅巴では男子が一家を興しまする以上は、全く住家を別にしなければなりませぬ、親子一所に暮すとか、或は兄弟の夫婦が一ッ家に住むとかいふ風俗は有りませぬ故、妻帶をすると、自ら一室にせよ二間にせよ自分の家といふものが新たに要る、故に容易に一家を興すことは出來ませぬ、又假令住みまする處は得られんでも、其家內子供は自分の腕て養はなければならぬ、それには餘程收入が宜くなければならぬ、又既に妻帶した上で、自分にそれだけの事が出來なくても、親も兄弟も極く非常の場合でなければ保護を致さぬ故に、彼方では若い修業盛りの者は、餘程收入か宜しくなければ妻帶を致すことは出來ませぬ、又既に獨立して妻の無い以上は、每日職業に就く前に、朝飯午餐晩餐の如きも自炊を致すか、或は割烹店に參りて濟ませ是れより外に道は無く、一家を持ッて家內子供と一所に食事をして職業に出て往くといふものは、歐羅巴下級社會の人間になりまするど、餘程年を取ッて、少くも三十歲以上の者です、三十歲になります迄に必死と働いて多少蓄財が出來たとか、或は親が遺した財產を受繼いて一家を興す位地にならんではさうは參りません、其故若い者は殆ど

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

皆無妻で、且ッ兄弟が妻帶して居ッても、其處に往つて厄介になることは容易にしない、どうしても自分で一間借りまして其處に起臥して日々職業に出て參ります。で朝は食事が單純てありまする故麵食を買う、毎日定めて麵食を買ひますれば、いくら少しでも毎朝麵食屋の方から運んで來る。それで皆樣も是等の風俗は豫ねて御聞及びても有りませうが、歐羅巴では、一軒の大きな建物があつて、其家が何十室といふ程に小さな室數に分かれて居ッて、其家の中に幾多の人が入ッて居るのですから、麵食屋は一軒大きな家に參ると御得意が澤山ある故、少々のものでも容易に持ッて參る、其麵食を買ひまして、あとで茶を喫む位の事は自分で出來ないことはない故、先づ朝飯だけは自分で濟して職業に出て參ります。さりながら彼地では主な食事時は午ですが、職場から歸ッて來て自分で調理して食べて、又仕事に參る譯には參りませぬ。何故かといふにそれには、時間も要り、又器具も要る譯故、下級社會の者が、自分の食事の爲めに餘計な器具を買ひなどすると非常に不經濟故、まづ輕便の割烹店に參ッて食事をする樣になります。處が固より割烹店は營利的に致す故、儲らるゝだけは自己の利益を計り其割烹店に集ひ來る人間の健康上にはあまり注意を致しませぬ、只御客樣の澤山來ることを主とする事故、鳥渡口に入れて氣持の好い物、或は見掛けの好いものを調理して、衛生上に對して良し惡しなどはあまり注目致さない。モウ一ッは單に食物ばかりを賣りましては利益が薄い故嗜好物殊に酒性飲料麥酒葡萄酒の如きは本邦ほどに高價ではないが、併し下

級の者には不適當の價故多くは麥酒、けれども麥酒は弱くて効力が薄い故、日本の燒酎「なをし」の如き強い酒類を食事の時に用ひる、御承知の通り強い酒性飲料は、飲む度に漸々に飲量が増しまして、竟には恰も阿片煙草の如く一旦其味を覺へると到底廢める事は出來ざるのみならず、益々分量が多くなり、腸胃を損じ、からだを惡るくするに至ります、割烹店の方では斯ういふ酒家が、大へんに好い御客樣で、健康を害するなどには毫も頓着しない、爾ういふ人が一人でも多く參つて飲料を成べく澤山費すと、ソレだけ利潤が多いので、斯ういふやうな食事屋は、人の健康を破ぶる塲所と極言しても宜い。併し若い職工等は外に食事をする處が無いゆへ、最初は無據參るが、其間には知人も出來、飲み相手も出來て、竟に身を持ち頽す塲合に到るものが多く、下等の職工社會の衛生、次第に零落の中に傾いて來る有樣が見ゑました。又一方には日に月に製造塲は創設されまして、歐羅巴の下級社會の重なる仕事は、工塲の職工、故に此職工等の衛生の善惡は國家經濟に大なる影響の有る事、又一家の幸福に就ても、大へんに關係の有る事です。若き職工が不規律に身を慣れしむると、後に妻帶しても家で飲食することを好まず、折角得たる金は酒店に費して仕舞ひ、家内には堪ゑず風波が起ッて、實に憐むべき有樣であると云ふ事を、丁度皆樣が婦人衛生會を御設立になッて種々御心配になッた工合に、伯林の市内に住はるゝ貴婦人方が御協議になッて職工等の如く日々勉勵して力を勞はなければならぬものが、其勉強する力を養成する食事の爲めに、遂には健

康を破り、又德義を失ひ、一家の主人となッて家を保つことが出來ず、一夫となッて家内を養うことが出來ず、親となッて兒女の敎育が出來ず、啻に事業上生產力を減ずるばかりでなく、社會上斯やうに不幸なる人間の多くあることは、大へんに憐むべきことである、故に我々が一致協力して是等職工輩の午餐を衛生上利益あるやうにしては如何であらうといふ考案を立てられ、組合を起されまして職工午餐場と云ふものが出來ました。ソレで私が彼地に參つて拜見をしました時分には、當時の皇后陛下の御保護を仰いで、其保護の下に貴婦人方が監督をなし居られたので有ります、爾う云ふやうな次第で御婦人の事業として、且つ又衛生上に關係がありますから此午餐場といふものゝ有樣を申上げやうと思ひついたので、御坐います。

伯林は市府を十二區に分ッて居りますが、この一區每に午餐場が或は二ヶ所或は一ヶ所或は三ヶ所の處も有ります、是れは其近傍の工場の數、又職工の多少に因り、又其區の廣狹に由りますから、每區必ず同數でなく、一から三位の差があるので御坐います。其場所はどう云ふ處に設けられてあるかといふに、是れは鳥渡皆樣に御考へはつきますまいが、彼地では地價が高い故、日本のやうに通例の家ばかりでなく三四階もある上に、又家の下、日本の椽の下のやうの處六尺位床下が高なッて居る其下の土地の中に掘り込んで、往來から三尺ほど深く這入る位の處に家が出來て居る、さういふ家には、靴屋古着屋等の小さい手職をする者は、主にさう云ふ處に住んで居ります、椽の下

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

と口には言いますが、なか〳〵侮る事は出來ない私共の住家よりは遙か立派な處も有ります。ソレは銀行の樓の下或は區長の樓の下、是等は貴顯紳士の御出になッても恥かしからぬ程の立派な割烹店が有る位、けれども一般に申せば、殊に市府の周回に在る樓下の家は建築も麁末で、從て家賃も廉い。歐羅巴では四階まてある家ならば四階が一番家賃が廉く、其次は樓の下の家であります。固より午餐場の目的は全く慈善的では有りませぬが、成たけ費用は省かなければならぬ譯故、家賃を少なくするには四階が可いが、併し僅かの暇を以て午餐を濟まさなければならぬ職工が數百の梯子を昇降して、無益の時間を費しては氣の毒といふので特に樓の下の場所を撰んで、隨分大きな廣い所があります。其中に庖厨の設けもあります。勿論諸物器も立派といふ譯には往かぬがいづれも清潔を旨として、食卓の如きも白木で、布物は有りませぬが、白木を砂で磨いたもので、實に清淨潔白になッて居ります。其一區に十人位の會員があッて一週毎に順番を定めて、其番に當ッた時には、貳人の下婢を連れて、此午餐場に出席してそれ〳〵の指揮をする、而して買入は本部の方から一ケ所に掛合て、日々馬鈴薯が若干肉が若干といふ樣に定まッて居ります、無論貴婦人方が慈善的に無報酬になさる事故、商人方も多少割合を廉く納むる事になッて居ります。而して其日の料理は何〳〵と云ふ事を當番の貴婦人方がお定めになッて、二人の下婢は前日から準備をして晝の間に合ふ樣に致します。食器はどういふものかといふに、單純な丼と匙だけでありまして、別に肉刺庖丁等

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は有りませぬ。飲料は一度沸騰しました水、一切酒性飲料は禁じてあります。而して十二時になりますると特に三人の貴婦人が御出席になる、午餐場の入口には下婢が切符を賣ッて居ります、職工は切符を買ひまして、夫人方の御立ちになッて居る前に來て其切符と食物と交換致します、デ切符は二通りありますから其何れか切符の印に因て、下婢に指揮して以ッて參ッた料理を夫人が受取ッて職工に御渡しになると云ふ仕組になつて居ります、此食物の價は日本の金で三錢のものと一錢五厘のものと二通り有ります、是れは料理に違ひがあるのではなく、職工の事故、一錢五厘の分量で足らないものもあるゆへ、分量の多いのも出來て居るのでございます。ソレからして今日は何々の料理が出來て居ると云ふ事は、入口に札が掲げてあッて、這入ッて參る職工がソレを見て自分の好きな物の切符を買う、其品物は詳しく申すと、時を費しますから申しませぬが、一口に言へば、品物の價直は廉く、味は口に叶うやうに、從ッて營養になるものを選び、且ッ一人の人間が一日に蛋白質の種類に屬する窒素を含んだ物を何程澱粉質が何程、脂肪がいくら、塩がいくらといふやうな事までも定めて、殊に之が快く食べられるやうでなければ往けない故、味もよく拵へて、ソレが出來まするとき、貴婦人方が一口試みて是れで宜いといふ、認可を受けた上でなければ、下女が丼に盛ることが出來ないのでございます。其經濟はどう云ふ工合になッて居るかと云ふに、初めはいくらか宛持ち寄りまして、慈善的に施さむといふやうな趣意も出でましたが、慈善的に只下さるものと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なると、少し不都合である、殊にソレデは到底永い間維持して往くことは來出んソレ故午餐場といふものは、其收入に因て獨立して往く方法を取らなければならないと云ふ趣意で全く營業的に致して居るが、併し普通のものとは違ひまして、衛生の目的を達する爲めに設けたる午餐場でありますること故、比較的利益は無いが若しも會計上利益を得たる時は、ソレに順じて改良を加へて、益々進める計畫になつて居ります。而して一區にこの經濟は其區の監督婦人が監理して、本部に於ては、一年若くは半年度に總決算をすることになつて居ります。又其上の監督者がありまして、突然に巡回して一區〳〵を監理する貴婦人が、約束通りに役目を務めて居らるゝが其定刻時間に貴婦人方が出席して居らるゝか、又下婢等は誠實に立働き凡てに深切なるか、又料理をするに就ても不經濟の事をせず、譬へば芋の皮をむいても其皮は牛の喰物に賣るとか、ソレ〳〵廢物利用の定めを果して守つて居るか、又日々の決算はどうなつて居るかと云ふことを見巡する貴婦人が有ります、私は或人に賴みまして貴婦人が巡回せられます時に着いて參つて、其午餐場の有樣を親しく目撃する機會を得ましたのです、其時は丁度一日に五ヶ所ばかり見巡はられましたので、或は準備中の所、又職工の參り居る所、或は終る所、若くは夕方になつて翌日の準備をして居る所を見ました、而して帳面を調べてソレが規則通りに守つて居れば巡回貴婦人は記名して參ります。此折貴婦人方の御話に或日皇后陛下も恐れ多くも、此樣の下の午餐場に親しく駕を枉げられまして、職工等の食事をし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て居る所を御覧になつて實に午餐場の爲めに此上なき榮譽であつたと云ふ事をいはれました。私は此午餐場を見まして、實に是れは只午餐場といふばかりではない、實に職工を德育される所であるといつて決して過言ではないと感じました。何かといふに、凡そ社會の人間の中で亂暴なる事に於きましては此種類の人間が一番であろうと存ずる、是れは日本でありませうとも、開化して居る歐羅巴でありませうとも、此種の人間の風俗に變りはない、然るに私が參りましたときには七十人ばかりの職工が參ッて居りましたが、實に靜謐なもので、只匙と茶碗の觸るゝ音ばかり、既に濟して出て參るにも、初め這入ッて來て切符を買ひまするにも、實に靜粛で、殆ど職工では無いかと思ふ程で御座います。ソレあらば何か此午餐場には嚴重な規則でもあるかといふにさうでも無い、只喫煙を禁じてあると。酒性飲料を携帶してはならむといふ位の事が書いてあるのみです、來るものゝ中には、女工も男工もあッて、男女席を一にして居ります、互に談話もしないかといふに、低聲で話して居りますが誠に靜かでございます、私の參りましたときには、其職工等の中に大學の學生が晝餐をして居るのを見受けました、之を以て見ても、風俗の亂れて居らんことを察するに足ります。さて創め午餐場を設けることを企てられました時に當つては、いろ〳〵世の中から攻擊め出ました、又之を維持する點に於て大へんに難義をした、又種々攻擊の出た中で、最も勢力の強かつたのは、斯程に人の衛生を重じ、永く之を維持して健康を保護しやうと云ふならばなせ義捐金を募ッ

て施與する方針を取らないか、さればまだ〳〵是れよりは幾倍も完全のものが出來やうに、さはせずして食物を買ッて其收入で維持しやうといふ事は到底出來得べからざる事故、賛成しないといふことであッたさうです、私も斯程に貴婦人方が骨を折らるゝならば、僅かに三錢か一錢五厘位のまことに僅かのもの故、寧ろ職工に御施しにあつたらどうあらうかと申しましたら、されば其處が私等の世の攻擊に、抵抗する點である、若しも人間が他人から只物を貰ッて、ソレに依て生活して往かうと云ふ精神が出來ては單に一人の發達を妨ぐるのみならず、此人民が集ッて一國を成すこと故輙ち總体の一國民の獨立心を失ッつて仕舞うことになる、我々はソレを恐れる、且ッ又慈善的に人に施すといふことは、施す人數に限りがあッて、

弘く人の健康を保護するといふことは、出來ない、ソレよりは幾分か割合を廉く賣といふことになれば買ふ方にも都合が好いのみならず、又他の割烹店に參ッたやうに、知らず識らず金を費すといふ事もなく、又賣る方も限りなく人の求めに應ずることが出來る、又我々は營利的といへば營利的でもあらうが、兎に角職工等の不幸なる位地を救はふといふ精神と、亦之れが爲めに費す時間とを慈善としてあとは、午餐場の獨立心を主とし、又此事業も獨立心を以て擴張して、金が足らないから。仁人の義捐を恃むといふやうに到らないで、飽くまで此事等を獨立獨行致したいといふ考へを起した、如何にも御前の言ふ通り其事業の當初に於ては、いろ〳〵批難もあッたが、幸に今日は人も此趣意の美なる事を知て、事業は益々盛大に趣

き、啻に當伯林のみならず「ピイシ」あたりにも此兄弟たる午餐場が出來て、之が爲めに職工場の衛生に非常の進歩を來したといふことを言ふて居られました。翻ッて一方の普通の割烹店に於て食事をする處の職工は、行ひも亂暴、飲食物も亂暴、從ッて衛生などは更に顧みない。一方はソレより少なき金で、充分に滋養分を食べることが出來、啻に身体の衛生に叶ふのみならず、加ふるに精神上の德育も言はず語らずに得る、只一の午餐場にして非常に利益の大なることは、實に私は感服致しました。此事たるや歐羅巴の市府には大に必要で、日本の今日の社會に斯樣な必要は感じない、然るに之を申し上くるといふは無益のやうでございますが、さりながら私の皆樣に申上げたい點は、斯ういふ趣意は、如何でも宜い、只此食物の事で御座います。食物は單に味の佳いのが宜いばかりではない、唯一の目的は、からだの營養になるやうにするのが主故、成たけ經濟に適ふやうに、費用を省いて良いものを撰ぶのが必要、今日誰れも彼れもからだを丈夫にしやうといふには、なによりさきに食物に注意するのが肝要で御座います。

抑々食物とは、からだに取つて如何なるものを食物といふか、味の佳いものか、口あたりの好いものか、養ひになるものか、といふやうな所から割出して參ると、割合に御金を費さないでも、美味も食べられ、養になるものを食べられます。さて此事を専ら取扱ふは一家の中の誰なるかといふに、是れは男子には出來能はざる事で、御婦人の專務でありますのです、御婦人は人を養うのが天

賦といつても宜い位て、人は生れる前より婦人の胎内に於て養ひを受け、生れてより後も男子の力で養育することは出來ない、御婦人の篤き養育に依て生育し、成長して後も、飲食のことは御婦人の御力を藉らなければならぬので、男子が自炊等は決して出來る譯ではない、誠に食物のことは御婦人には非常に關係が有ることで御座います。承れば坪井博士が先達より生理解剖の御講演をなさるさうで御座いますから、皆樣にも能く御了解になりまして、自ら今日のことに應用も出來、誠に喜ばしい譯であります。私も皆樣に切に願ッて置きたいのは、大人は多少食物の變化等は随分堪ゆることも出來ます、けれども小兒の食物は餘程氣を附けなければなりませぬ、皆樣の御注意に因つて、之か確かに規則正しくなれば餘程衛生上喜ぶべきことで御坐います。勿論皆樣方にはさようなことに間違ひは有りませぬが、日本全体下級の人民にまで此思想を及ぼすやうに、御心配を願ひたい。デ私等が幼時學校に參る時分と今日小學校に通學する小兒とは精神の勞し方が、殆ど十倍も違ひます。私等は學校へ往くと申しても、やうやく大學朱熹章句位のことで、歸れば直ちに庭に飛び出して終日遊んで居る譯故、随分粗放の生活をして居ッても、一方で精神を勞することが尠ない故、身體の發育には妨げを受けなかッた。然るに今日の兒童等は、毎日午前八時から午後の四時まではといふものは、精神を費し、又家に歸へつても、翌日の復習に精神を勞するのであります。さて一方の食物は如何と云ふに、少しは昔より可いとは申せ、あなた方の御身分では御注意になることも

出來ませうが、下等社會では到底出來ないのは無理もない、併ながら若しも精神の勞しかたと、身體を養う食物との適當の平均を得ない時は、身體が弱くなり、隨分不幸にしてソレが爲め殘る丶者が往々あります、よしや死には到らずとも、幼なる時に病氣になると、生涯虛弱なる人とあつて仕舞う、ソレも其人一人だけなれば宜いが、弱い親に强健なる兒は生れませぬ、だん〳〵統を重ねて、竟には一國の生產力が減ずるので、經濟上に大關係を至します。是等の道理の存することを、貴婦人方から下級の婦人に御示しになりまして、且つ又同じ食物でも調理の方法に因ッて、養になるべきものも、全く用を爲さず、或は却ッて害をなす場合も有り、又僅かの手數で消化が良くなり、從ッて滋養になる道もあります故、是等の事をも、併せて御示しになるやうに切に希望いたします。で此人間の體と云ふものは、どう云ふものから成立つて居る、食物は何處で消化すると云ふことは、醫學の方に屬することで、私の專門に關係の無いことでありますが、その食物とするものは、かく〳〵の成分でなければならむ、其成分は日本の食物の何に含んで居る、又其食物は斯ういふ風に調理すれば消化が良いとか、惡るいとか云ふことは、化學上に屬すること故、ソレ等の点に就て、御望みが有りますあれば、迚も一二回には申し切れませぬが、他の演說者の補缺として順次に申上げても宜い、例ねば手近い處で申すと我々日本人の主なる食は米であるが、是れも製方に因つて消化が良くも惡るくもなります、同じ米でも、之を粉にして團子に製すると、非常に不消化の物となり

ます、是れは一例に過ぎませぬが、其他野菜でも肉類でも、其調理法は消化に大關係が有ります、いくら滋養の成分を含んで居つても其の物が能く消化せざる限りは、砂を嚙むと少しも變らない、實に食物の調理法は大切なる事でありながら、遺憾にも人が大切に考へませんで、下婢などに任して置くものが多い、外國人の如きも日本に參ると、コックと云ふものを雇つて全く是に、打任かせるけれども、ソレが歐羅巴の風ではないので、只外國に參つては情態が解らぬゆへ、便利上雇ふので、自分の國に在れば自ら調理もし、買物にも出掛けると云ふ有樣です、人は食物調理を卑賤のやうに考へ、居らるゝが決して爾うでない、一家の幸福も一國の幸福も食物に大なる關係があつて古來より食物より大騷ぎの起つた例は澤山に在ることで、人間の生活上最も貴ばなければならんので、食物調理は實に凡ての事業中最も大切と考へます。

大へんに永く御邪間をしまして、甚だ御怠屈であつたことゝ存じます、私の願ふ處は總て一般の食物に就て御婦人方の御注意を仰ぎたいが、特に學齡兒童の食物、是れに就て下級社會の者に、折々御教示を願ひたい、是れは男子の勉めることは出來ない、總じて飲食物のとは上層下級通じて婦人の務め故、あなた方より詳かに御話下すッたならば、はやくとが解つて宜からうと思ふので、此事を願ひ旁ゝ以て是れを題として申上げた次第でございます。

衛生叢談

◉麻疹に就きて

G. K.

本年は痲疹の流行甚しく且其性質激惡にして多くの生命を傷ひたるは實に悲しむべきことと云ふべし全体此病は既に昔時より世に知れ渡りたるものなれば大抵の人は其症狀にて之れを推知するを得るものなり又其病の經過ぬ別に合併病或は後發病を起さゞる場合に於ては敢て心配を要することなし
此病は多く小兒に來り患者の淚液、鼻汁、痰等を他の小兒に注入すれば直ちに之れに感じ又病毒は空中に飛散し易く爲めに呼吸の道より傳染すべし故に患者に觸れ又は其持參したる物品(手拭、衣服等)より毒病を傳染する場合尠しとせず然れども其病毒の何物たるに至りては未た之れを知るに由なし小兒の此病に罹るべき素因(素因とは其病に罹り易き生來の体質を云ふ)は生後七ヶ月頃にあり而して一度之れに罹れは再ひ患ふること少なし此病は大都會には常時絕滅することなしと雖とも流行を來たすは大抵二年目乃至六年目にして冬より春に多く流行の當初と終りとは至ッて惡性のものとす而して其流行時は四ヶ月乃至六ヶ月間なり痲疹の未た襲來したることなき土地に流行を來たせば病毒甚た惡性のものなりと云ふ
此病に罹れば其經過を四の時期に分つ即ち
第一感染期は大抵十日間とす此中に在ては小兒不穩となり怒り易く不眠の狀態にして咳をなし音聲嗄れ明るき處を厭ふ
第二前徵期は凡そ三日にして急に惡寒を覺え戰慄を起し二三時間の後に發熱し暫時に四十度に達す而して翌日には平熱に下るか或は咽喉の病又は目の結膜(眼の白目の外にある赤き膜)の焮傷が激

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

烈にあれば平熱に下ることなし目縁は少しく腫れ涙汁の分泌盛んとなり光明を厭ひ眼中に痒を覺へ又は痛を感じ爲めに目を數瞬き鼻は閉塞し爲めに幼兒は哺乳するを得ざるに至る

第三發疹期は三日乃至四日間とす此期には下りし熱は再ひ三十九乃至四十度に昇り四日間も續き突然下熱す發疹は通例顏面、頭部、頸部に始まり三日中に胴、四肢に擴る然れとも顏面、胸部、背部に最も多く其色は赤し發疹は時によりては痒きを感ずることあり患者は渇を訴へ食氣なく舌は白色となる、

第四表皮剝脫期は七日間とす此期に於て發疹の初めに生せし部分より脫色し表皮は剝脫し恰も糠の如し患者か此際に痒氣を感す故に夜中寢に就きて屢々啼くことあり

以上の四期は各々合併し來りて敢て正しき境界なしと雖とも大体は斯の如き順序にて經過すべし若し合併症來たれば顏面に數個の腫物を發するか眼病の重症に陷るかヂフテリアを起す其他耳の病を誘起するか氣管枝炎、肺病を發して斃るゝに至る幼兒に最も恐るべきは氣管枝加答兒にして大抵斃きも之れを患ふるもの多しとす

麻疹の豫防は別に法なし故に其流行時に病症惡性ならざれば寧ろ之れに感染するを良とす而して病症を發したれば合併病の來るを注意して輕卒の擧動を廢し醫の言を守るべし

◉飲食物に就きて

目下夏期に向ひまする故に飲食物に注意せられんことを記者の希望する所であります夏の疾病の原因をなしまするは多く飲食物の不良の爲めでありま

す凡そ人体を化學的に分析致しますれば僅かに十四の原素より搆造せられたるものでありまして其原素は各一定の分量を有して居ります而して一度手を動かし又は足を蹈むときは其原素の幾分を減ずるものであります故に之れを償ひ補ふために飲食物を取る譯でありますが此原素を人工に製して其都度食料となすことは困難であります故に動物又は植物を選み之れを食ひて諸原素を得まして身体を養ひます動植物は多く人体を養ひまする諸原素を含有致しております小麥などは一粒の中に人體に必要なる諸原素を有するものであります然れども唯是等を食ふのみにて身体の運動を致しませぬときは反つて疾病を生じます即ち深窓中に生長せらるゝ婦人の多病なるは此理であります縱ひ原素を含有致すと少なき食物を取るも新鮮なる空氣を呼吸し筋骨を勞し血液の順環を促せば之れ養ひとなるものであります勞力者の常に強壯なるは實に此理であります凡て食品を多量に又は時を定めずして食ふことは大毒であります之れ胃を損ず疾病を起す基ひとなります

食物消化の難易は人によりて一樣でありませぬ又其食品の種類によりても異なるものであります然れども大抵軟き肉は硬き肉又は野菜よりも消化し易く又米、麥は滋養分に富みて他の菜穀よりも消化し易くあります故に最良の麵包は滋養分あると肉に勝ると申します、食物の消化をすゝむるには丁寧に噬み徐かに嚥下すことであります食物胃中に入りますれば胃口直ちに閉ち其中の食物は旋轉致し胃液と混和致します此作用を終りますまでは胃口に其他の食物を入るゝことを欲しませず

然れども強ひて食ひますれば胃は曲げて其意に從ひ入るゝが故に其爲めに生じまする害は實に少々でありませぬ

食物を取るときに禁ずべきことは食物の冷熱に過ぐると、食物多量を一度に取ると、急ぎ食ふと、一日數回すると、刺戟性の食物を多く食ふと（刺戟性の食物とは辛子、胡椒の如き藥味を云ふ）消化し難き食物を食ふと、滋養分多き食物に滋養少なきものを混ぜずして食ふと等であります

食料も火酒製のものは健康を害しまするも決して健康を助くるものでありませぬとは諸君能く御承知のことであります世の人々火酒を以て寒氣を防ぐの良藥と致しますれ共決して寒氣を防ぐ力を增すものではありませぬ却て減ずるものであります昔時北氷洋に航海致したる人の經驗談に冷水を飲用しまする人の寒氣に堪ふる力は火酒を飲用しまする人に勝るとの事であります酒客は食物を普通の人より食ふこと少なきが爲め身体枯瘦るわけであります時として身体肥大するものあるは火酒中の炭水分が脂肪に變じて皮と肉との間に充滿するためであります之れが甚しくなりますれば一種の病となり之れを肥大病と申しまして病院に入らねば治療を受けかねます又酒毒を子孫に傳へますれば子孫は精神病、肺病等を患ふるに至ります、

日本酒は一体西洋のビールなどより火酒に富み就中燒酎、泡盛、味淋の類は甚しきものであります故に之れを多量に飲みますれば頓死することがあります

茶、珈琲は激しき毒物にはありませねど自ら身體の滋養となるものではありませぬ又茶は神經の疲

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞を醸し珈琲も神經を興奮するものであります故に茶は余り上等のものを用ひぬ方宜しく珈琲は必ず牛乳を混じて飲用せられたし

味噌汁は他國にあることなく我國固有の產物でありまして滋養分は多く良き飲料となりますが余り多く吸ふことを禁じます多く吸へば胸部に停滯致しまして不快を覺へます又慢性の胃病ある人は之れを廢する方が宜敷あります

醬油も大豆より製せられたるものにして食物の味を添ゆるために用ひ又汁として吸はるゝものなり之も毒味なし唯夏時に黴を生ずることありますれば宜く之れを濾して使用せらるべし

煙草は一の刺戟物でありまして決して身体の滋養となるものに非ず其烟を吸ひて鬱氣を散ずるといふは一時神經を刺激致し以て一時の快を覺ゆるに過ぎず或醫師の經驗によりますれば煙草を平常嗜む人は年老ひて眼病を患ふ之れ不斷其煙にて目を刺戟するが爲めにありと

牛乳、菓實、菜蔬の汁は滋養に富み健康を助くる飲料なることは今更茲に申しませぬ

水は人生に欠ぐべからざる天然の飲料でありまして之れなくば動植物は唯一日も生活繁殖することとは出來ませぬ(委細は不日雜誌に載すべし)然れ共清潔なるものを擇みて飲用に供せられよ飲みて惡き水を申しますれば金屬を混和したる水、動植物質を含みたる水、水管或は水桶に附屬しまする亞鉛腐蝕の酸毒を混じたるもの等であります是等のものを飲みますれば健康を害します若し止むを得ずして飲まねばなりませぬ時は沸湯して其上層を飲むか之れより安全の法は器械にて漉して飲

でとあります其器械には種々あります或は砂又は木炭末を水桶に入れまして桶の下端に小孔を造り上部より汚水を入れ下の小孔より流出致す水を使用することでありますが近頃尚ほ良き漉し法があります之れは水桶の底面に木炭末を入れ其上に砂を敷き其上に細かき小石を積み重ね其上に海綿を置きて汚水を漉しますれば水多くの層中を經過して終に清潔のものとなります

以上の法は水中に浮び出たる汚穢を去るに過ぎませぬが水に溶解して人目に見へす汚穢は次の法にて見分けまたへ

水に動植物質を含むときは硫酸を投じますれば黑色となります又銅氣ありますれば磨きたる小刀を入れおくべし小刀黄色となる又石灰氣ありますれば青酸アンモンニヤと云ふ藥を入れますれば白き雲を生じます其他は畧し置きます

湯は血の温度より熱きものを用ひてはなりませぬ之れは齒、咽喉、胃等を害しますからであります

◉室内の掃除法

世に空氣の流通惡しき家屋は其住人に不健康を來たすものなり故に時々戸或は障子を開きて新空氣を流通せしむべし縦ひ夜間と雖ども一時空氣を流通せしむるは固より害なし余り長く寢室の戸を開き置けば空氣濕りて冷かなれば感冒を招くことあるべし寒き日は戸障子を密閉し室内に火爐を置き戸外に出るを欲せず之れ反つて健康を害すべし故に屢々空氣の交替をなすべし空氣の流通不良の爲めに生ずる疾病は肺病、瘰癧、神經病等あり

戸障子の透間より入る風は健康に害あり暖かなりとても戸を開くべからず夫れより風吹かぬ方を開

くべし透間より入る風は例へは大器に水を盛り僅少に孔を穿つが如し其出る勢鋭くして健康を害す感冒發熱の患は多く之れより生ずるなり殊に小兒の病蓐に在るものには注意を加ふべし

我國は古來一年に一度若くは夏冬の期に二度煤掃きと云ふ家屋の掃除を行ひ其他は毎朝單簡に室內の掃除をなす習慣なれば之れを支那朝鮮に比すれば遙かに清潔なり然れども文明の歐州に於ては家屋の掃除法仍ほ嚴にして（尤も取除けの場所もあり）心ある人は養生の一と思ひ居れり而して其方法に至りては風俗の異なると建築の別あるに依て少しく趣きを異にす直ちに取て我家屋の掃除法となすを得ず凡て掃除をなすには先つ人目に見へぬ暗き所より始むべし暗き所の塵は見落すものなり又掃き出す所なきは塵取にて丁寧に取るべし又拭ふには屢々雜巾を洗ひ出し固く搾りて拭くべし塵のつきたる雜巾をゆるく搾りて拭くときは敷居鴨居などの隅に塵たまりて黒き斑を生ずるものなり

箒を使ふには眞直に立てヽ穗先きにて掃くべし、ねせて掃けば塵充分に去らずして箒は薙刀狀に損ずるものなり箒の種類は棕櫚又はミゴ製のものを良とす

家內にて臺所と厠の掃除を能く行ふこと最も肝要なり臺所は三度の食事を調理する所故に不潔なれば食物も多くは不淨なるへし先つ水はきに注意し腐敗物を捨て庖丁小刀に銹の生せぬやう磨き手桶又は瓶の水は成るへく汲置きにならぬやうになすへし殊更夏は汲置の水を飲用に供す可からず又煮たる食物を皿或は鉢に盛り之れに蓋をなさずして

長時間放置すへからず之れ空中の有機物其中に落ち黴を生じ或は蠅等が之れに群集して不潔の媒介を爲すに至る芥溜は時々注意し都會にては芥取夫（後得智耽）に之れを取らしめ田野にては家を離れたる所に運搬し肥料となすべし家の近くに置くときは汚穢物分解して臭氣を放ち人の健康を害するものなり

厠は務めて毎日能く掃除すべし之は不淨の所なれば箒、雜巾は別に備へ置き夏時は掃除したる后は五十倍石炭酸或は煆製石灰を撒布するか又は桐の葉二三枚を取り之れを釘に吊るしおくべし然れば臭氣は甚しからざるべし若し來客ある節急に厠の臭氣を消さんと欲すれば桐或は無花果の葉二三枚を取り水を振掛け之れを細く切り尿壺中に投入すれば暫時にして臭氣去るものなり

新しき疊には土の粉を有す之れは能くはたき取り雜巾を固く搾り拭くべし然し湯にて拭くなかれ之れ疊は赤く變色す又疊に油のこぼれたるときには糠、筆の粉又は石灰を撒布して其上に紙を置き重量を載すべし、天井或は柱の煤を去るには綿子殼の灰水にて幾回も洗ふべし、硝子障子は布の軟かなるものを以て拭ふべし決して硝子類を拭ふに紙を以てなすべからず之れ疵を付くる事あればなり甚しく汚れたる硝子はアルコール又は石油を付け磨くべし

◎病人看護法

凡て病人を看護致しまするは人の心得ねばならぬ事は平常醫士に對しまするには誠實を專一に致し患者に對しまするには最も信切に致しまして病人の已れに歸依致すやうにせねばなりませぬ故に自分

は能く物事を謹み自分の習慣にて患者に害となりまする事即ち喫煙飲酒等は元より禁し且行爲擧動は常に平等になし喜怒哀樂を輕々しく色に表はさゞるやうにせねばなりませぬ啻徒らに病人の傍らに侍坐致しまするは看護する人の役ではありませぬ偶醫士が見舞に來まして飲食の摸様を問ひ又は便通の工合を質しまするも能く分明に答ふることができず故に醫士は專家數人の口頭を摘抄致しまして僅かに病狀の一斑を伺ふ事の出來まするは誠に嘆すべき極と申すものでありまず何となれば如何に醫士が勉强して治療せんとしまするも容体が充分知れませねば治療の針路を失ないますればでありますこれに由りまして醫士と患者との兩方に心を用ひまするには疾病の狀態に就きまして少しく心得居らねばなりませぬ世の看護婦にして看護の教育を受けたるものは元より委細承知の事でありますが看護婦を求めんとするも得べからざる場合に於きましては其家の婦が一時看護せねばならざる事屢々見聞しまする事實でありますから少しく冗長ながら是れより申上ます

喘息と咳嗽のこと

呼吸はなし易きか或はなし難きか及び速きか遲きかを注目致しまする外に何波息の度始終平等なるか又は緩急不定なるか又は笛の如き聲を有するか又はスウ〳〵といふ雜音を混するかを認めねばなりませぬ

咳嗽は先づ頻繁なるか又は時々あるか又は之れか爲めに胸部等に疼痛を與ふるか否やを記しをくものでありまする此咳嗽には二た通りありまして喉頭氣道、肺臟より生しまする排泄物が集りまして痰

となり之れを咯出致しますものを濕咳と申し痰なくして唯咳のみ出るを乾咳と申します是等は病によりて違ひあります通常は濕咳か多あります尋常の咳嗽は看護を要しませぬも咯痰困難なる時若くは衰弱したる病者咳を發しまする時には看護者は一手にて病人の前額を支へ他手に唾壺を持ち口の前に保つべし若し咳嗽頻りに發しまする時は枕を高く致させ半臥の位置になすことが宜しくあります而して痰は必ず咯出させ嚥下せしめぬやうせらるべし出てたる痰は必ず唾壺に貯へ密に盖を閉ぢ醫士に撿査を受けねばなりませぬ痰の中に若し血を混じておりますれば特に注意しこれで其痰の咯出しまする時の摸樣幷に血の色合又は泡沫を含みおるや又は多少凝結致しおるや又は動流しおるやを注意致し置きまして醫士に報告せねばなりませぬ

吐嘔のこと

食したるもの或は胃中の分泌物或は腸中のもの即ち膽汁、糞汁等が逆流致しまして口より出でまするを嘔吐と申します尤も同時に多少氣道の分泌物をも混ずるものであります、病人嘔吐を催します時には成るべく速に衣帶を寛め看護人は一手を病人の前額に當り他手を後 頭に掛け頭を固く持ち下方に垂れぬやうに支へまして金盥を口の前ニ把り充分に吐かせて仕舞はねばなりませぬ尤も病によりましては殊更に吐劑を飲ませまして吐かすることがあります此吐劑は通常空服の時に與ふるをいゝ法となします之れを與へましてのち更に微温湯を飲ませますれば吐嘔を容易に致します然しながら成るべく吐出を忍ばせ置き結局耐へ難に至りまし

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て一頓に吐がするを良と致します之れ反つて容易に吐出をなし窒息狀の苦悶少なふ御坐ります

卒倒又は沈醉などの場合に嘔吐を催しまする時には特に注意致しまして頭首を横にあし固く持ちて吐せねばなりませぬ然らざれば吐物が氣道中に入りまして窒息を興す事があります其際には吐かせたる後に手拭を箸にはさみ口中を能く拭きやらねばなりませぬ又吐出する事が持續して止みませぬ時には氷片又は冷水又は砂糖の入らざる少量の珈琲などを與へおきまして醫士を招くなり而して嘔吐が止みますれば清水にて口内を嗽がせ吐出物は其色、性狀、混合物の摸樣を撿しおきまして醫士に報告致し疑がはしきものは貯へ置きまして撿査を乞ふなり又吐出物を受けましたる器物は室外に出しまして掃除するか若くは蓋をなして厠の側らに貯へおき醫士に撿査を乞ひてのちに捨てねばありませぬ然しながら傳染病の吐物や咯痰は十分に消毒を行なはねばなりませぬ其方法は醫士の命に依らねばありませぬ

○藥の用ひ方

藥には内服、外用の二種ありまして内服藥には白色の附箋、外用藥には赤色の附箋を貼りまして病人の姓名と藥の用法とを記載せらるゝものであります又劇藥には用法の右の上方に注意と附記するを法と致します故に病人に藥を與へんと致しますれば先づ其附箋を讀みてのちに與へねば誤をなす事があります

内服藥は水藥、散藥、丸藥、滴劑に區別致します水藥は時によりましては上層と下層と別々になり又は沈澱を生じます故に與ふる前には必ず藥瓶を

振ひ能く混和致し盃又は匙に移し水を飲ますする
やうに後より病人を抱き起しまして徐かに口內に
移し入るゝなり若病人首を擧ぐる事能はざる時は
れば長き嘴ある小盃を用ひ又は硝子管又は麥幹
を以て吸はするのであります若し人事不省となり
居りますれば一層注意致して徐かに藥水を口に移
さねばなりませぬ然らざれば氣道に入りて窒息を
起しまするが若くは肺炎となります

散藥は匙若くは小盃に移しまして少量の水又は湯
を加へ能く攪き混ぜて與ふるがヲブラートと云ふ
物につゝみて飲みまするかモナカ(菓子)の皮を水
にて濕しそれにつけて飲むなり散藥は口壁や齒齦
に附き易き故に服用後は更に水を與ふるを良しと
致します

丸藥は先つ口中を水にて濕ふし丸藥を舌の中央に
置きまして更に水を與へまして嚥下するのであり
ます

滴劑は其滴數を違へぬやうに數へまして與へねば
なりませぬ先藥瓶を栓のまゝ倒まになし次に横に
して少許の藥液を瓶の頸部に導きまして注意し
て徐かに栓を拔き一滴つゝ落すなり落してのちは
速に栓をせねばなりませぬ之れ藥は蒸發し易き
ものでありますればあり其後は火氣のなき所に置
かねばなりませぬ

藥は總て與へまする時刻を違へてはなりませぬが
病人偶ま睡眠を致しまする時は醫士の特更に時刻
を定めたる藥劑の外は强て覺して與ふるに及びま
せぬ

病人藥を眞に嚥下したるや否やを知りまするには
服藥後一二言を云はせて試むるなり若し口中に藥

あれば言語をなすことができませぬ若し藥を嫌ひまして服用しませぬ時には懇に說諭し尙は承知しませぬ時には醫士の指揮を乞ふの外に仕方がありませぬ

（以下次號）

新潟支會講演

●通俗產科學講演（於大日本婦人衛生會新潟支會三月十一日）

（第一回）　高橋辰五郎君述

茲に談話の筋書を呈し置きたるが如く私は順次に產科について述べん婦人は娩產をなす可きものあるにより產科の事柄を心得置くの必要あり今日世間には產婆の進歩せざる爲め種々の害を生じ甚だしきは母若くは小兒の生命を失はしむること甚だ多し故に余は近頃頻りに產婆の改良を計れり今產婆の不良なるによりて生せる慘酷なる一例を次に述ぶべし

第一　初生兒の口筋痙攣（ホーヅギムシ）

頃日生產後第七日の小兒を診せることあり小兒は頻りに口唇を伸縮し時々手足の痙攣を發して啼き項筋緊張し腹膨滿し眼を閉ぢ全く乳汁を吸はず臍部を視るに艾艸を以て被はれし之れを取り去るに膿を有せり即ち此小兒は臍の化膿により痙攣症を起せるものなり而して臍の化膿は產婆の處置不良にして消毒法を行はざるが爲めに黴菌附着し之れを發せるものにして假借なく之れを云へば產婆がことさらに傳染毒を感染せしめたるものなり世間此類の事甚だ多し速かに之れを救はざる可らず私は一種の臍帶用器を製し之れを用ゆ此には消毒に必要なる一切の物品を容る之れを用ゐて小兒の處置をなすときは危險の痙攣症を豫防し得べし余は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の如き器具の必要なるものなることを一般に知らしめんことを希望す

第二　人卵より小兒の發生

序に人卵より小兒の發生を述べん人間にも卵（第二圖）なり小にして粟粒の如し徑七厘に過ぎず卵は子宮の側にある卵巣より生ず原と子宮は壜を倒さにしたるが如きものにして兩側に喇叭管あり喇叭管より卵巣に連なる卵巣に卵を生ずるときは喇叭管を通りて子宮内に達し妊娠せざれば外部に脱出し妊娠せば子宮内に止る妊孕せる卵内には微の如き細粒を生じ（第三圖）次に其細粒周圍に附き（第四圖）後ち更に皮膜となり其一部に厚き部分即ち胚板を生ず（第五圖）此胚板は人体となるの原なり次きに胚板の周圍の縁より内方に卷き込し（第六圖）遂に（第七圖）の如く眼を生じ体の兩側より手及び足を出し内方に卷込したる周圍の縁は臍となる此臍より臍帶となりて胎盤（後ち産）に連る胎盤は營養分を母体より受け臍帶を經て胎兒に送くるの用をなすものなり第一月中は胎兒甚だ小さく僅かに手足の形を現はし身長二三分に過さず且つ未だ人間の形を有せず滿二ヶ月に至れば明かに人体の形を具へ身長一寸余に至る此時期に流産するときは多くは其半部粟の殻の如く他の半部水嚢の如き嚢中に在りて産出せらる嚢内の小胎兒は恰も鼠子の如し此處に示せるは凡そ二ヶ月半の流産胎兒なり（嚢を切り開きて胎兒を出せる實物を示せり）此の如き胎兒漸次に増育し二百二十日を經れば身長凡そ一尺六寸重量凡そ七百匁の小兒となりて胎外に産出するものなり

産科に於ては四週間即ち二十一日を以て一ヶ月

となす故に分娩に至るの時日二百八十日を十ヶ月と云なり

(圖解は次號讓る)

◉子宮癌種の話

子宮に生ずる腫物の主要なるものに癌腫と筋腫との二種あり(此時解剖せし子宮を示して說明あり)其徵候は筋腫にあつては下腹攣痛を起し漸々腹內に塊物を現はし月經の如くに血多く下るものあり此頃發刊の大日本婦人衛生會雜誌衛生叢談の部に此筋腫は十八中三人位の患者ある割合とあれど其れ程多きものにはあらず恐くは印刷の誤りならんが今西洋の比例を見るに婦人病者百人に付き三人四分位の割合なり

癌腫にあつては其症狀は筋腫と異にして其發生も種々あれど先づ子宮の口より發するもの多く其發し方にも子宮口の部が漸々大きくなる性質のものと漸々腐敗し行く性質のものとあり其の初めは小なれども漸々其周圍に及ぼし其の容体は白色又は赤色の下り物あるのみにて其他痛痒の感じもなく飲食に差違もなく縱令半年位之れを患ふるも殆んど何等の異變をも感ぜず幸に此時期に於て醫士の診察を受くれば子宮の口が漸々に大になる性質か將た漸々腐敗し行く性質が判然見分くることを得べし癌腫の患者も筋腫の患者と同しく其數多くして婦人病者百人に付三人位の割合なり予は當地に來りしより既に二年其間には隨分癌腫の患者をも診察せしが推測するに一町內に一人位の割合にはあるべし尤も此病は年老ひざれば發せず大概四十才より五十才の間に多く二十才位のものには極めて稀なり今獨逸國にて調査せし表あれば之れを示さん(此左の表を揭げて說明す)

年令	死亡婦人千人中子宮病死亡者
二十一歳乃至二十五歳	一、人
二十六歳乃至三十歳	一〇、五人
三十一歳乃至三十五歳	一四、五人
三十六歳乃至四十歳	三六、四人
四十一歳乃至四十五歳	四七、三人
四十六歳乃至五十歳	六六、二人
五十一歳乃至五十五歳	五五、〇人
五十六歳乃至六十歳	三九、六人
六十一歳乃至六十五歳	二〇、四人
六十六歳乃至七十歳	二〇、三人
七十一歳乃至七十五歳	九、一人
七十六歳乃至八十歳	六、六人
八十歳以上	三、六人

此表に就て見るに子宮癌による死者の尤も多きは四十六歳より五十歳に至るの五年間にて即ち千人の死亡婦人中六十六人二分あるの割合あり筋腫は血下り腹痛むも其れが爲め直ちに死に至るは稀れにして且つ多くは治療を施こし得れども癌腫に罹るものは其始め何の徴候もなく半年乃至一年を輕過したる後始めて外部に現はれ時期少しく後るゝときは到底死を免れざるものなり醫師の許に至り血下り腰部に痛みを起すと云ふ婦人にして年令四十位其顏貌一種の土黄色を呈するものは未だ診察せずと雖ども多くは癌腫たるを知り得べし而して治療の方法は唯切斷するの外に途なし切斷するには容易なるものと困難なるものとあり

（以下次號）

大日本婦人衛生會記事

◎六月例會　六月五日第一土曜日午后一時より麹町區内山下町華族會館に於て例會を開く醫學士丸茂文良君には實扶的里亞病に就て父母の注意すべき要件を演說せられ次に醫學博士大澤謙二君には衛生上一般に關する注意を講演せられき四時半頃一同散會せり

新潟市會の園遊會

同支會に於ては先きに會長副會長及大嶋幹事には過日轉任せられ此度勝間田知事夫人會長に野間口

書記官夫人副會長に池原さん子幹事に其後任を承諾せられたるにより會員相互面識を得んが爲め新潟市礎町淺田醫學士邸内にて園遊會を催せしが種々の餘興ありて近來稀なる盛會なりしといふ因に記す同日淺田邸内に於て役員會員共一同打揃ひ撮影をなし本會へも寄贈せられたるを以て永く紀念の爲め本會に保存せり

◎會告

七月及八月は規則により集會相開き不申休會致し候但し雜誌は兩月共定時刊行致し候に付此段御了承有之度候也

廣告

◎入會者

◎本間いと子紹介に依り
臺灣臺北縣兵器修理所内小八木氏方　藤崎とらへ子

◎新潟支會へ申込に依り
新潟縣新潟市知事官邸　特別會員　勝間千代子

仝營所通　特別會員　野間口八重子
仝營所通二番町　特別會員　和田しげ子
仝上旭町一番町　特別會員　山下ゑつ子
仝西堀通二番町　特別會員　松澤とき子
仝寺裏通一番町笹川方　松村梅野子
仝　齋藤くに子

◎淸水富喜子の紹介に依り
廣島縣吳莊山田村千七番次廿九番邸　中島ゑつ子

◎北澤信子の紹介に依り
本郷湯島六丁目順天堂病院内　大久保晃子
仝　井上ちよ子
仝　山本はな子
仝　森けい子

◎事務所へ申込に依り
荏原郡大崎村大字上大崎五百八十一　今村くに子

◎青木すゝ子の紹介に依り
下谷區二長町五十二番地　長谷きし子

◎三浦致子の紹介に依り
神田區淡路町二丁目四ノ三號　宇津木繁子

◎岩本利子の紹介に依り
下澁谷日本赤十字社病院内　菅沼きん子
　秀島はつ子

◎宮地こま子の紹介に依り
日本赤十字社病院内　大津やま子
　桂ゆき子

◎大木せん子の紹介に依り
神奈川縣中郡國府村新宿三丁目七十二番地　府川かね子
岐阜縣岐阜市縣立病院内　中島いの子

◎事務所へ申込に依り
本郷區第一醫院　吉村八重子
　平澤こう子

◎大石こう子の紹介に依り
本郷第一醫院　川井うめ子
　福田よし子

◎移轉者

牛込區神樂町三丁目六番地へ　市尾はつ子
麴町區一番町六番地へ　橋本ちせ子
赤坂區仲の町二十番地へ　天野群子
牛込區矢來町四番地三十一號へ　伴よし子
本郷區金助町四十番地へ　秋間ため子
佐賀縣佐賀市與賀町八十四番地直崎方へ　數まさ子
豊多摩郡千駄ヶ谷村字原宿二百一番地　矢野禮都子
麻布區北日ヶ窪町四十三番地へ　長與專齋君
　長與その子
福岡縣若松港筑豊石炭倉庫會社内へ　長谷川仲子
羽前國南村山郡上ノ山町鶴脛町五百三十二番地　松下貞子
本郷區丸山新町四十番地へ　生駒種子
安藝國吳和庄町二千〇十一番次二番邸へ　淺野かま子

地方會員へ廣告

地方會員にして會費金未納の御方は至急本會事務所（東京下谷區練塀町四十三番地）宛神田區佐久間町爲替取扱所振込にて御送附被成下度奉願候也

大日本婦人衛生會

私立大日本婦人衛生會規則

第一條　凡本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

第二條　本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置く

第三條　本會の會員たらんと欲する者は身分の尊卑を問はず何人にても入會することを得

第四條　會員たらんと欲する者は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込ある可し
　但事務所は下谷區練塀町四十三番地に置く

第五條　本會々員を分て修身會員特別會員通常會員の三類とし共に會費金を納むる者とす
　但終身會員は一時に金拾圓以上を納め特別會員は一年金二圓四拾錢以上を納め通常會員は同金壹圓二拾錢を納むる者とす尤も會員中書生及其他事故ある者は唯雜誌料として同六拾錢を納めしむ

第六條　男子にして本會の主義を贊成する者は之を贊成員とす尤も會費は本會員に同し
　但本會に功勞ある者は役員の協議を以て終身贊成會員(無會費)とすると有る可し

第七條　本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉す推戴員は皇族の御息所等に之を申請するものとす

第八條　本會は左の役員を置く
　會長一名　副會長一名　幹事七名　評議員二十名　書記若干名

第九條　會長副會長及幹事評議員は會員の投票を以て之を撰擧し書記は幹事の推撰により會長之を命ず
　但書記は都合により會員外の婦人又は男子に托するとあるべし

第十條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し又は其代理をなし幹事は會長の命を受けて務を處理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命に從て諸記錄及雜務を掌る
　但幹事の分課を設けて第一會計　第二編輯出版　第三庶務とす

第十一條　會長の見込を以て右役員外に會員中より臨時に指名委員を置くとあるべし

第十二條　會長副會長及幹事評議員の任期は一年とす尤も再撰するも妨げなし

第十三條　會長副會長及幹事評議員は無給料とし書記は相當の報酬を給す

第十四條　本會の集會は七月八月を除くの外每月一回として通常第一土曜日午後一時より之を開く

第十五條　每會學識經驗ある者を聘し講義演說を囑し本會々員の演說と共に之を筆記して本會雜誌に揭載し每月各一册つゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす
　但し演說の間に談話を交ゆる事あるべし

第十六條　會員は家族の婦女子又は知己の婦人を本會々場に誘致して傍聽せしむるとを得

第十七條　講義演說の際男子の傍聽を禁ず
　但會員に緣故ある男子は此限にあらず

第十八條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす
　但些少の金額は日々の費用支出の爲め事

明治二十一年二月二十八日內務省許可

務所に引出置を得
第十九條　會計の收支は總て會計課幹事の撿印を
要す
第二十條　會員又は會員外より金圓若くは書籍物
品等を寄贈あるときは本會より謝狀を送り
且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載
せ報告するものとす
第廿一條　會費は郵便小爲換にて東京下谷郵便局
へ向け振出しある可し
但不得止場合には郵便券を代用するも妨
けなし尤も一割增とす
第廿二條　入會員には會員證を附與すべきに付郵
便にて申込の者は郵便券二錢を添ふ可し
第廿三條　每年三月九月の總會に於て會計の收支
庶務の概略幷に會員の增減等を報告す可し
且規則改正の案あれば之を議定するものと
す尤も議定は總て多數決とし可否半數なる
ときは會長之を決す
但至急規則の改正を要する事あるときは
豫め會員に報して臨時に之を爲すことを得
第廿四條　三月の總會に於て役員の撰擧をなすも
のとす
第廿五條　會規則の範圍內に於て役員の評議を以て
細則を設くることを得
第廿六條　各地方にて發起者十人以上ある者は支
を設くることを得
但其規則は本會の規則に抵觸せざる樣起
草し本會役員の認可を經へし
第廿七條　本會の集會場は時々報知する者とす
第廿八條　會費金は受領證を付與すべし尤も小爲
替又は郵便券にて納むる者は右受領證遞送
費として郵券二錢を添ふべし然らざれば受
領證は送付せざるものとす

明治二十五年九月
東京下谷區練塀町四十三番地
私立　大日本婦人衛生會

齒科診察
午前八時より
午後五時まで
東京日本橋區本町二丁目十二番地
齒科醫　高橋コウ

明治三十年六月十八日印刷
明治三十年六月二十日發行

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地
大日本私立婦人衛生會
編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地
田中德三郎
印刷者　同　神田區小柳町十三番地
小高良造
印刷所　同　神田旅籠町貳丁目拾一番地
廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可每月二十日發行

（定價金拾錢）